

主日礼拝

2024年12月22日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「良い知らせをエルサレムに伝える者よ。
声をあげよ、恐れるな
ユダの町々に告げよ。
見よ、あなたたちの神
見よ、主なる神。」 (イザヤ書 40:9b-10a)

点火 242「主を待ち望むアドヴェント」

1.~4. しゆを まちのぞむ アドヴェント

1. さいしよの ろうそくとも そう しゆが みちを そな
2. だいに の ろうそくとも そう しゆが なされ たて
3. だいさんの の ろうそくとも そう しゆの めぐみ て
4. さいごの の ろうそくとも そう しゆは このよ に

えられ た このときを まもろう
の ように たが い たすけよう
か が や き たが い み て けら す
か り た もう こ こ ろ こ め う た おう

1.~4. しゆの た みよ よろこべ しゆは ちーかい

- | | |
|--|---|
| 1 主を待ちのぞむアドヴェント、
さいしよのろうそくともそう。
主が道をそなえられた
この時をまもろう。
主の民よ、よろこべ。主は近い。 | 3 主を待ちのぞむアドヴェント、
第三のろうそくともそう。
主のめぐみ てりかがやき、
暗やみをてらす。
主の民よ、よろこべ。主は近い。 |
| 2 主を待ちのぞむアドヴェント、
第二のろうそくともそう。
主がなされたそのように、
たがいに助けよう。
主の民よ、よろこべ。主は近い。 | 4 主を待ちのぞむアドヴェント、
さいごのろうそくともそう。
主はこの世に来たりたもう。
心こめ、歌おう。
主の民よ、よろこべ。主は近い。 |

リタニー「暗闇のなかで」

(「教師の友」2024年10,11,12月)

司式者：つらいことが いっぱいありました。

会衆：悲しいことで、胸が いっぱいになっています。

司式者：目の前が真っ暗で

会衆：とてもじゃないけど お祝いする気持ちになれません。

司式者：神さま、わたしたちは いま

会衆：そのような暗闇のなかで、座りこんでしまっています。

司式者：神さま、わたしたちに いま、

会衆：光を照らし、あたたかく つつんでください。

一緒に：あなたの愛が しみわたりますように。

あなたのぬくもりを感じられますように。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」

キリエ エレ イソン キリエ エレ イソン
しゆ よあ わ れ しゆ よあ わ れ しゆ
キリエ エレ イソン
しゆ よあ わ れ

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
しよよ、あわれみを しよよ、あわれみを しよよ、あわれみを

聖書 マタイによる福音書 1：18~23

新約(新共同訳) p1~p2

18 イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。19 夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。20 このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。21 マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」22 このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。23 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

賛美 248 「エッセイの根より」

Es ist ein Ros entsprungen
 詞：ドイツ・キャロル、15世紀
 曲：Alte Catholische Geistliche Kirchengesang, 1599

1 エッ サイ の 根 よ り お い い - で た る、
 2 イ ザ ヤ の つ げ し ち い さ - な ば ら、
 3 か お り は た か し、 ち い さ - な ば ら、

よ げ ん に よ り て つ た え - ら れ し め、
 き よ き マ リ ア は、 は と - な り ぬ、
 ま こ と の 神、

ば ら は さ き め、 し む ず か に さ む き、
 主 の ち の か の み、 し む 子 は う ま れ ぬ、
 ま こ と の ひ と、

ふ ゆ の - よ る に、
 す く い - の た め、
 す く い - ぬ し よ。

- 1 エッセイの根より 生いいでたる、 2 イザヤの告げし 小さなばら、
 預言によりて 伝えられし きよきマリアは、母となりぬ。
 ばらは咲きぬ。 主の誓いの
 静かに寒き 冬の夜に。 み子は生まれぬ、救いのため。
- 3 香りはたかし、小さなばら、
 きよきひかりは 闇を追いぬ。
 まことの神、
 まことの人よ、救い主よ。

説教 「疑念が信仰に、不安が希望に変えられるクリスマス」

聖歌隊 指揮：玉理 照子

聖餐式 81 「主の食卓を囲み」 (前：81-1,2・後：81-3)

詞：新編聖歌、1936- 曲：新編聖歌、1936- MARANA THA

1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、
 2 主の十字架をおもい、主の復活をたたえ、
 3 主のよびかけにこたえ、主のみことばにしたがい、

すくいさかずきをのみ、主にあつてわれらはひとつ。
 主のみくにをまことのぞみ、主にあつてわれらはいきる。
 愛のいぶきに満たされ、主にあつてわれらはあゆむ。

マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。

- 1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、 2 主の十字架をおもい、主の復活をたたえ、
 救いさかずきをのみ、主にあつてわれらはひとつ。 主のみ国を待ち望み、主にあつてわれらは生きる。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
- 3 主の呼びかけにこたえ、主のみことばに従い、
 愛のいぶきに満たされ、主にあつてわれらは歩む。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。

賛美 267 「ああベツレヘムよ」

O little town of Bethlehem
 詞：Phillips Brooks, 1835-1893
 曲：Lewis H. Redner, 1831-1908 ST. LOUIS

あ あ ベ ツ レ ヘ ム よ、 ち い さ - な ま ち。
 し ず か な よ ぞ ら に ま た た - く ほ し。
 お そ れ に み ち た や み の な か に
 き ぼ う の ひ か り は き ょ う か が や く。

- 1 ああベツレヘムよ、小さな町。
 静かな夜空に またたく星。
 恐れに満ちた 闇のなかに
 希望の光は 今日かがやく。
- 2 マリアを母とし 生まれたみ子
 星々かがやけ、語り告げよ。
 みつかい歌え この喜び、
 「神にはみえ、地に平和」と。
- 3 人はみな眠り 気づかぬまに
 めぐみの賜物 天よりくる。
 心低くし 主を迎えよ、
 罪ある世界の 救い主を。
- 4 ああベツレヘムの きよいみ子よ
 今こそわれらは 心ひらく。
 すべての罪を とりのぞく主、
 共に宿る神、インマヌエルよ。

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 塩冶 みはる
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 大代 恵
 助餐 光成 由樹

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。